

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 74万人
- GNI 総額 17.70億ドル
- GNI 一人あたり 2,420ドル
- 経済成長率 4.6%
- 失業率 2.1%
- 対外債務残高 14.59億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) 1.61億ドル
- DAC分類 後発開発途上国
- 世界銀行分類 iii / 低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対ブータン援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009年度	-	10.38	8.56(8.41)
2010年度	-	11.27	7.68(7.60)
2011年度	21.87	21.59	7.39(7.19)
2012年度	-	5.09	7.20(6.59)
2013年度	-	2.50	9.07
累 計	57.63	323.60	167.54(164.63)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1 : 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	26.2%(2003)	1.7%(2012)
●目標 2 : 初等教育における純就学率	55.0%(1998)	90.2%(2012)
●目標 3 : 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.76人(1993)	1.01人(2012)
●目標 4 : 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	130.8人(1990)	44.6人(2012)
●目標 5 : 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	1,000人(1990)	180人(2010)
●目標 6 : 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	-	0.06人(2011)
●目標 7 : 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	85.6%(1997)	97.2%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

ブータンに対する我が国ODA概要

1. 概要

ブータンに対する我が国の経済協力は、1964年の専門家派遣に始まり、以来、我が国は長年にわたり同国における主要ドナーの一つとして支援を実施している。

2. 意義

同国は、インドと中国に挟まれた地政学的に重要な場所に位置している。農業分野を始め広範な分野で着実に成果を挙げている我が国のODAは、ブータン政府・国民から高く評価されており、我が国との外交関係樹立以来、一貫して親日国であるブータンとの良好な関係の維持・発展に大いに役立っている。

3. 基本方針

農村と都市のバランスの取れた自立かつ持続可能な国作りを支援していくことを基本方針とする。国民総幸福量 (GNH) の基本理念と民主化定着を念頭に、自立的な経済成長とともに、農村でも生計が営めるよう農村の活性化、農村部の社会インフラ・サービスの拡充を支援し、生活水準の向上を図る。

4. 重点分野

- (1) 農業・農村開発: 農業の近代化、農業インフラ整備を支援する。
- (2) 経済基盤整備: 道路網整備、地方の電化促進を支援する。
- (3) 社会開発: 雇用創出に向けた人材育成、教育サービスの向上、医療・保健サービスの向上を支援する。
- (4) 良い統治: 地方分権の強化、情報普及の促進を支援する。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。
 2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
 ()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

ブータン

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

（単位：億円）

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011年度	21.87億円 ・地方電化計画（フェーズ2）（21.87）	21.59億円 ・第三次橋梁架け替え計画（国債3/4）（9.27） ・サイクロン災害復興支援計画（10.19） ・ノン・プロジェクト無償（1件）（2.00） ・草の根・人間の安全保障無償（2件）（0.13）	・農道架橋設計・実施監理能力向上プロジェクト [11.12~14.05] ・地方電化促進プロジェクトフェーズ2 [12.03~14.09]
2012年度	なし	5.09億円 ・第三次橋梁架け替え計画（国債4/4）（3.32） ・サルパン県タクライ灌漑システム改善計画（詳細設計）（0.46） ・貧困農民支援（1件）（1.10） ・草の根・人間の安全保障無償（3件）（0.21）	
2013年度	なし	2.50億円 ・サルパン県タクライ灌漑システム改善計画（国債1/3）（2.33） ・草の根・人間の安全保障無償（3件）（0.17）	・氷河湖決壊洪水（GLOF）を含む洪水予警報能力向上プロジェクト [13.10~16.09]
2013年度までの累計	57.63億円	323.60億円	167.54億円（164.63億円） 研修員受入 1,951人 専門家派遣 424人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011年度以降に開始され2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔〕内は、協力期間。

表-3 我が国の対ブータン援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	3.59	12.63	7.71	23.92
2010年	23.02	11.88	8.33	43.23
2011年	5.95	18.26	7.85	32.06
2012年	12.72	19.53	9.39	41.64
2013年	3.40	6.41	8.77	18.58
累計	48.67	283.88 (1.06)	156.81	489.40

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、ブータン側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2008年	日本 20.34	デンマーク 13.77	オーストリア 3.99	スイス 3.15	オランダ 3.09	20.34	50.29
2009年	日本 23.92	デンマーク 12.23	スイス 4.81	オーストリア 4.54	オランダ 3.78	23.92	56.46
2010年	日本 43.23	デンマーク 13.19	オーストラリア 7.55	オーストリア 4.45	オランダ 2.66	43.23	77.35
2011年	日本 32.06	デンマーク 13.02	オーストラリア 7.75	スイス 4.39	オーストリア 3.88	32.06	72.10
2012年	日本 41.64	オーストラリア 15.60	デンマーク 12.20	スイス 4.36	オーストリア 4.01	41.64	83.06

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2008年	IDA 11.46	ADB Sp. Fund 8.30	EU Institutions 7.84	GEF 4.33	IFAD 1.84	7.02	40.79
2009年	IDA 32.32	ADB Sp. Fund 29.64	EU Institutions 2.92	IFAD 1.99	UNDP 1.66	6.01	74.54
2010年	ADB Sp. Fund 38.11	IDA 8.87	IFAD 4.80	EU Institutions 1.79	GEF 1.78	5.24	60.59
2011年	IDA 35.94	ADB Sp. Fund 26.84	IFAD 3.30	GEF 2.80	WHO 1.55	6.89	77.32
2012年	IDA 38.67	ADB Sp. Fund 33.53	EU Institutions 5.28	GEF 1.66	UNFPA 1.53	6.29	86.96

出典) OECD/DAC

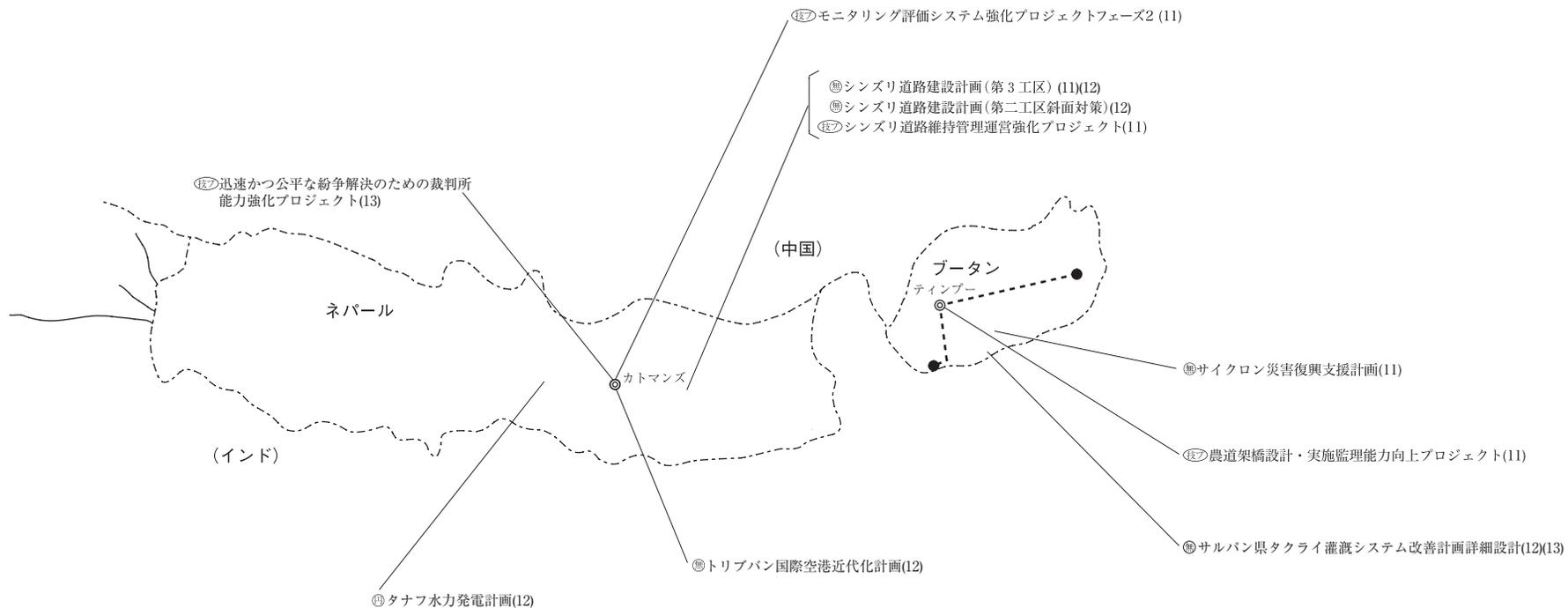
注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
ティンブー市における交番新設に伴うパトロール車整備計画
ティンブー市における中古ゴミ収集車整備計画
プムタン県中古ゴミ収集車及びバキューム車整備計画

主なプロジェクト所在図

ネパール、ブータン



⑬⑦ モニタリング評価システム強化プロジェクトフェーズ2 (11)

- ⑬⑤ シンズリ道路建設計画(第3工区) (11)(12)
- ⑬⑥ シンズリ道路建設計画(第二工区斜面対策) (12)
- ⑬⑦ シンズリ道路維持管理運営強化プロジェクト(11)

⑬⑧ 迅速かつ公平な紛争解決のための裁判所能力強化プロジェクト(13)

ネパール

(中国)

ブータン

ティンブー

カトマンズ

⑬⑨ サイクロン災害復興支援計画(11)

(インド)

⑬⑦ 農道架橋設計・実施監理能力向上プロジェクト(11)

⑬⑩ トリブバン国際空港近代化計画(12)

⑬⑩ サルバン県タクライ灌漑システム改善計画詳細設計(12)(13)

⑬⑪ タナフ水力発電計画(12)

〈ネパール全国対象プロジェクト〉

- ⑬⑫ 貧困農民支援(12)
- ⑬⑫ 基礎教育改革プログラム支援のための学校改善計画(11)
- ⑬⑫ 制憲議会選挙支援計画(13)
- ⑬⑦ 小学校運営改善支援プロジェクトフェーズ2(12)
- ⑬⑦ 補給管理センター及び航空路レーダー管制業務整備プロジェクト(13)

〈ブータン全国対象プロジェクト〉

- ⑬⑫ 貧困農民支援(12)
- ⑬⑫ 第三次橋梁架け替え計画(11)
- ⑬⑫ ノンプロジェクト無償資金協力(11)
- ⑬⑦ 地方電化促進プロジェクト(11)
- ⑬⑩ 地方電化計画(フェーズ2)(11)
- ⑬⑩ 氷河湖決壊洪水(GOLF)を含む洪水予警報能力向上プロジェクト(13)